



たおしたちくさん たおしたきよたか

峠下畜産の峠下清孝さんにインタビューをしました。



しつもん 1

どうして大乗で、牛を育てるようになったのですか？

こたえ

昔から、よその家より多くの牛を飼っていましたが、だんだん牛の数がふえたので、今のところで育てるようになりました。

生後8か月の牛を、1年8か月間育てるそうです。



生まれて8か月の牛たちです。

しつもん 2

牛を育てたり、お肉を売ったりするのに、気をつけていることは何ですか？

こたえ

お肉を買ってくれる人たちの希望で、お肉のやわらかいメス牛だけを1200頭育てています。エサはとうもろこしなどが入った牛専用のエサと牧草を、朝と夕2回あげています。

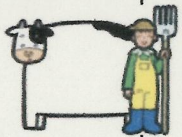
お肉を売る時に気をつけることは、使う道具をきれいにすることです。みなさんに安全なお肉を食べてもらえるようにしています。

しつもん 3

どんなことが大変ですか？

こたえ

牛を育てているので、休みがないし、1200頭の牛の体をきれいにするために、一年中扇風機をまわすなどして、気をつけることです。



竹原市の子どもたちに、一言お願いします。

みなさんによろこんでもらえるよう、おいしいお肉にするために、大切に牛を育てたり、衛生に気をつけてお肉を切ったりしています。私たちが大切に育てた牛たちです。給食でも、お肉を残さずに食べてくださいね。



たおした峠下さんのこだわりで、きれいにみがきあげられた道具です。